



「技術の進歩と教育」

校長 池田 和幸

令和4年11月に ChatGPT がリリースされ、対話型生成 AI が普及することになりました。今からおおよそ3年前のことになります。私自身も興味をもち、どんなことができるのか様々なことを試してみるものの、なかなか満足のいく結果や活用方法が見つかることはできませんでした。学校の仕事は多岐に渡り、同じ作業の繰り返しや定期的にする仕事が多くあると時間削減効果があるのかもしれませんが、今のところ校務において劇的に時間短縮につながる効果を得るためには、使う側が考え工夫していかなければ難しいと感じていました。それでも AI による画像生成技術等、AI が裏側で働いて私たちの生活を便利にする技術が生活の様々な部分に取り入れられるようになっていきます。音声入力技術や言語翻訳技術などは、ハイスピードの進歩をみせており、オンライン会議でのリアルタイムで字幕をつけることができるようになっており、音声データから会議録の作成なども自動化できるようになっていることを考えると、技術の進歩のすさまじさを実感しています。

昨年 NotebookLM という web アプリが Google からリリースされました。このアプリの機能を知った際、こういうアイデアがあったのかと開発者の発想の凄さに驚かされました。これまでの生成 AI という、インターネット空間にある情報を様々な組み合わせ、そこから質問に対して回答するものでした。それは使用する側からするととても便利なものであった反面、データのソースがはっきりしないだけでなく、それを適正にまとめているのかわからない状態でした。ハルシネーションとって、本当のように嘘をいうという現象が AI ではいくつも報告されています。しかし、このアプリでは、ソースを自分が指定して、その指定されたソースの中から回答を生成するという形となっており、ハルシネーションが発生しにくいそうです。このアプリでは、YouTube の動画や音声データ、PDF ファイルなどをソースとして取り込むことができるので、様々な解説動画や、テキスト化された参考書などを取り込むと、自分だけの学習ノートを作成することができます。取り込んでいる内容についてこちらからアプリに質問すると、AI が回答します。また、学習ガイド機能を使うと自動でクイズを作成することができるなど、確実な情報を与えると、使用する人の学習を手助けしてくれるアプリになっています。まだまだソースによっては要約や分析が甘いと感じる荒削りさはありますが、これまでの技術の進歩のスピードを考えると、あっという間に荒削りさはなくなっていくのではないのでしょうか。

私はこのアプリを知って、ついに自分が学ぼうとする意思があれば、様々な知識を簡単に身につけていくことが可能な時代がやってきたと感じました。これまで学校や塾が担ってきた知識教育が、いよいよ AI にとって代わられる時が来たと、強く実感しました。対話型生成 AI の普及から数年でここまでの進歩を見せていることを考えると、さらに数年後はこのような AI を活用できるかどうかで、生徒自身の学力が大きく変わる時代がやってくることは間違いないと思います。文部科学省が「アクティブラーニング」という言葉を用いて、主体的に学習することの大切さを訴えてきていましたが、これからの時代は学習者主体の学びがますます大切になっていくことは間違いありません。

今、学校教育では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して様々な取組を行っています。「対話的」という部分も大切にされるようになっていきます。学習者が主体となって学習を進めていっても、個人の中だけでは、視点や考え方がどうしても独善的になってしまう面があります。見方や考え方が異なる別の人と「対話」をすることによって、自分の考えの過ちを見つかけたり、異なった角度からの考え方を知ったりと、より深い学びへと進めていくことができます。日本人同士でも価値観や考え方の違いというものが浮き彫りになることがあります。世界全体に目を広げると、さらに多様な考え方や価値観であふれています。互いの違いを受け入れ、乗り越えていくためにも、「対話」は欠かせません。考え方の対立を解決する手段として武力を用いてきた歴史を人間はもちますが、武力を使わず解決するためにも、「対話」はこれから一層大切になっていくでしょう。これからの学校が大切にしていかなければならないことは、生徒同士、教師と生徒との関わりの中で教育活動が行われていくことなのだと考えます。

先日、1年生のフレンドシップスクールを実施しました。冒険教育プログラムを中心に活動しましたが、少しずつ難しくなる課題に対して、グループのメンバーの発想でクリアできたり、メンバーの声かけが勇気を与え一歩前に踏み出すことができたりと、集団となって活動することの良さを学ぶことができました。今年度の運動会では6年ぶりに学年種目が復活します。学級が一丸となり目標に向かって取り組んでいる過程の中で、生徒が大きく成長することは間違いありません。学校教育だからこそ学べるものをこれからも大切にする学校にしていきたいと思えます。5月31日の運動会では、生徒の頑張りに熱い声援を送っていただきますようお願い申し上げます。

地域交流会

防災教育・引き渡し訓練

4月26日(土)



今年度、最初の土曜授業では1年生を対象に「学校を支えてくれる地域、保護者の皆さん」を知る地域交流会を行いました。本校の教育活動の特色として、様々な外部人材と協力した教育活動が挙げられます。伝統文化体験やことだま、天沼倶楽部、各種検定を行う「学校支援本部」、学校の教育活動に関わる「PTA」、ボランティアや英語村を主催する「地域教育推進協議会」、学校の教育課程・学校生活に関わる「学校運営協議会」、地域の暮らしに関わる「町会」など、様々な形で生徒の皆さんの生活や教育に関わる方々を紹介し、その活動について学習しました。



また、2時間目には本校CS委員の守真弓先生を講師として、災害時における車椅子を利用した傷病者運搬訓練を地域の方々と合同で行いました。車椅子は1年生のボランティア生徒がウェルファーム杉並まで借りに行ったものです。マットのような少しの段差でも車椅子を押すのは難しく、バリアフリーの大切さを学びました。また、ちょっとした工夫で車椅子による運搬が楽になる道具の紹介なども行いました。



2・3年生は縦割り活動としてHUG訓練（H：避難所 U：運営 G：ゲーム）を行いました。

3年生が中心となって司会を行い、合同で天沼中学校が避難所になった場合を想定して訓練を行いました。どのようにして避難者を受け入れるかや物資の置き場などをシミュレーションすることで地域の一員として貢献する気持ちを育みました。



3時間目には震災等の災害に備え、天沼小・杏掛小との合同引き取り訓練が行われました。今年度はすでに生徒の安全確保のための保護者引き取りを行っていることもあり、安心・安全な学校運営に関わる取組や保護者・地域の皆さまと連携して子供を守ることの重要性について改めて深く考える機会となりました。保護者の皆様、今後ともご協力よろしくお願いいたします。



放課後には、レスキュー隊による防災訓練が行われました。天沼中学校は杉並区で最もレスキュー隊の人数が多い学校で、学期に1度、年3回の防災訓練が行われます。第1回目の訓練では被災時の災害対策本部の活動についてCS委員の守さんから講話をしていただきました。また、組み立て式の簡易トイレや保温寝袋、簡易担架など、家庭でも簡単に手に入る防災グッズを紹介してもらい、実際に組み立てるなどの体験を行いました。



生徒総会

5月1日(木)



前期生徒総会が行われました。各委員会や生徒会役員会が作成した議案書をもとに、各クラスで討議が行われ、そこで挙げてきた質問や意見に対する答弁が行われます。今年度は常任委員会の任期についての生徒会規約の改正も行われました。昨年度より、常任委員会の男女卒の撤廃など、生徒会規約についても意見を出し合い、活発な話し合いが行われています。皆で意見を出し合ってよりよい学校生活を築いていきたいと思ひます。



離任式

5月2日(金)



3月に異動された先生方、お世話になった職員の方々へ感謝の気持ちを伝える離任式が実施されました。ご来校された方々には「花束」が渡され、代表生徒が感謝の言葉を読み上げてくれました。残念ながら当日来校できなかった先生からもお手紙をいただき、在校生による「校歌」や「地球星歌」の歌声からは異動された方々への感謝の心が伝わってきました。離任式後も、校長室まであいさつに来る生徒や、廊下で先生との別れを惜しむ生徒達の姿がたくさん見られました。



おしゃべり ウィーク

5月7・12・14日

おしゃべりウィークは天中の特色の一つで、気軽に、先生方となんでもおしゃべりする時間です。全教職員のうち、だれとおしゃべりをしたいか全校生徒に希望をとって実施します。成長が著しく、気持ちが不安定になりやすい中学校3年間、悩みを一度ももたない生徒はいません。心の中にある「もやもや」を言葉に出すことによって少しでも前を向けるように、また、いろいろな先生と仲良くなって、困ったときに相談しやすくなるように、との願いで、天中で10年以上続いているものです。夏休み(三者面談期間)には保護者の方との「おとなおしゃべりウィーク」も希望制で行います。

今年も「ことだま百選」がスタートしました。

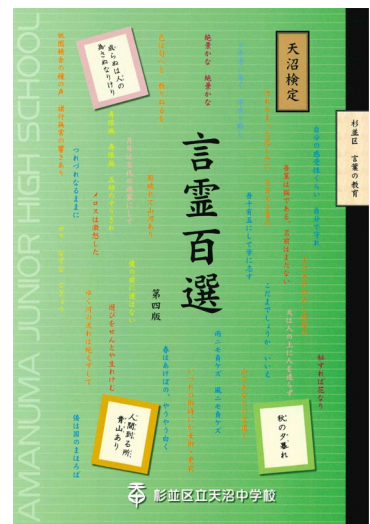
天沼中学校の特色的な教育活動の一つである「ことだま百選」が今年も始まりました。4月30日から始まった朝の活動には教職員だけでなく、たくさんの保護者、学校支援本部の皆様にご協力いただいております。

子どもたちの学習活動の意欲向上に欠かせないのが、周囲の大人による「見取り・価値づけ」です。学習活動に取り組む姿や経過を「見取り」、取り組む姿勢や活動の結果を「価値づけ」することは子どもたちの自主性を育てる上で重要な取組です。今後ご協力をよろしくお願い致します。

9月には英語で行う「KOTODAMA100」も始まります。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。



春 暁 孟浩然
春眠 曉を覚えず
处处 啼鳥を聞く
夜来 風雨の声
花落つること 知る多少



フレンドシップスクール

山梨県北杜市
5月15・16日

中学1年生が交流を深め、団体生活を学ぶことを目的としたフレンドシップスクールが今年も行われました。今年度は群馬県から山梨県に場所を変え、様々なアクティビティや体験活動を行いました。



国際自然大学校につき、みんなで昼食を食べた後は、チーム作りのためのアクティビティが始まりました。まずはクラスごとに長縄の練習です。今年の実行委員長 XXXXXXXXXX くんはしおりに「様々な活動や生活を共にする上で、互いの仲を深めてつながりを作る」フレンドシップスクールにしたいと意気込みを語っています。



二日目には、ほうとう作りや科学館の見学を行いました。宿舎での生活や体験活動を通して学年としてのきずなとチームワークを得た二日間となりました。



《保護者の皆様へ》 今年度の運動会（5月31日実施予定）

今年度より、運動会の種目に各学年の学年種目が加わりました。1年生「いかだ流し」、2年生「蛇の皮むき」、3年生「ムカデ競争」です。クラスごとに工夫を凝らして練習に励んでいます。ぜひご参観ください。

来場の際には「**入場カード**」「**プログラム**」「**名札**」をご持参の上、以下の参観ルールをご確認ください。

- 簡易イスや敷物をお持ちになっても結構ですが、**競技ごとに場所の入れ替え**をお願いします。
- 保護者の方々は「入場カード」に**すべての参観者のお名前をご記入**のうえ、**名札**と共に当日必ずご持参ください。**卒業生や他校の友だちを呼ぶことはできません。**
- 途中退場して再入場を希望される方は当日退場の際に受付にお申し出ください。
- 午後（13：30～予定）の生徒会種目（長縄跳び）、色別対抗リレーのご参観を希望される方は、一度ご帰宅いただき、再入場をお願いいたします。（昼食用に体育館の開放はいたしません）
- **自転車でのご来校はお断りしています。路上に駐輪することもおやめください。**PTAの係の方に巡回をお願いしています。
- 他のお子さんが写り込んだ画像の扱いにはご注意願います。**SNS等への利用や画像の加工等が絶対にならないようにご家庭でもお話しください。**